



## 貴志川線の未来を “つくる”会



結果発表

第14回 地域再生大賞

## 「大賞」を 受賞しました

## 廃線の危機に立ち向かった地元住民の活動を評価

### 地方鉄道存続へ全国に勇気を与える

第14回地域再生大賞の審査は、全国からノミネートされた51団体の書類審査、現地視察などを行い1月28日選考結果が発表され、貴志川線の未来をつくる会は、最高賞の「大賞」を受賞しました。

選考委員長は講評で、貴志川線の未来をつくる会は、廃線の危機に立ち向かったローカル鉄道の地元住民による活動が際立つ。存続運動は行政を動かして存続が決まり、約20年にわたり公共私(行政や住民団体、企業など)の連携によるローカル鉄道の存続、再生に取り組む。と評価いただきました。

ローカル鉄道存続へ、全国の地域住民に勇気を与える事ができたと喜び合いたいと思います。



表彰式 木村代表に大賞授与(2月15日・東京)

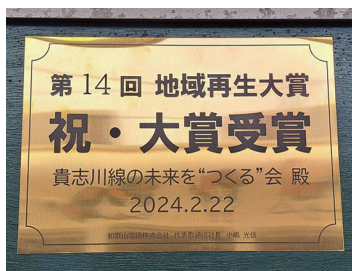
## 受賞は地域の皆さんとの協働に与えられたもの 永續と地域活性化へ活動を続けます

今回の受賞は「貴志川線の未来をつくる会」会員の活動が評価されたのみならず、ひとえに協力し支援し協働して下さった、地域や沿線の各団体、学校、行政、議会、事業者など多くの皆様のお陰であり感謝申し上げます。

私たちは、今回の受賞を励みに今後も、地域の皆さんと共に貴志川線永續と地域活性化へ活動を続けてまいります。



## 和歌山駅9番ホームに記念プレート



今回の受賞を祝って、和歌山電鐵から記念プレートを贈っていただきにやんにやんの日の2月22日、小嶋光信社長、ニタマ駅長、木村代表が参加して贈呈式が行われました。

## 「地域再生大賞」

全国の地方新聞47紙とNHK、共同通信社が自分の住む地域に活気を与え、魅力を高める活動に取り組み成果を上げた団体を応援するため、2010年度から毎年開催。大賞、準大賞、優秀賞などをもうけ表彰しています。審査結果と受賞団体の活動は公式サイト(<https://chiikisaisei.jp/14th-awards>)で紹介。